

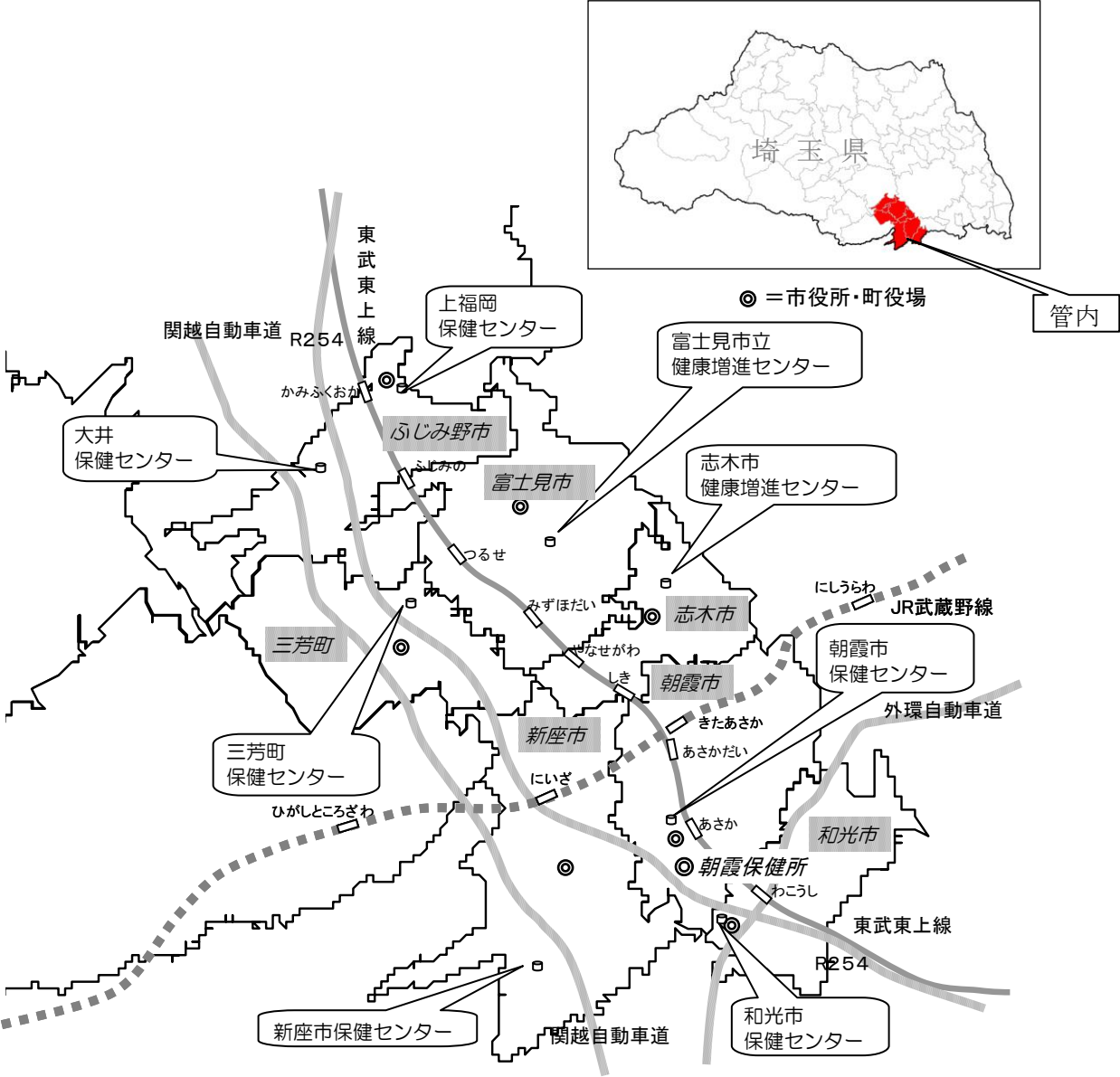
第1章 保健所及び管内の概要

1 管内概況

当所は、昭和36年11月、それまでの旧中央保健所の所管であった朝霞、大和、新座、足立の4町（面積61km²、人口73,041人）を所管区域として発足した。

その後、首都近郊という地理的条件もあって、多くの人口流入があり、急速に都市化した。

平成22年3月31日まで朝霞市、志木市、和光市、新座市の4市を所管していたが、同4月1日の保健所再編により、新たに富士見市、ふじみ野市、三芳町を所管し、現在、管内人口は68万3千人を超えるに至っている。

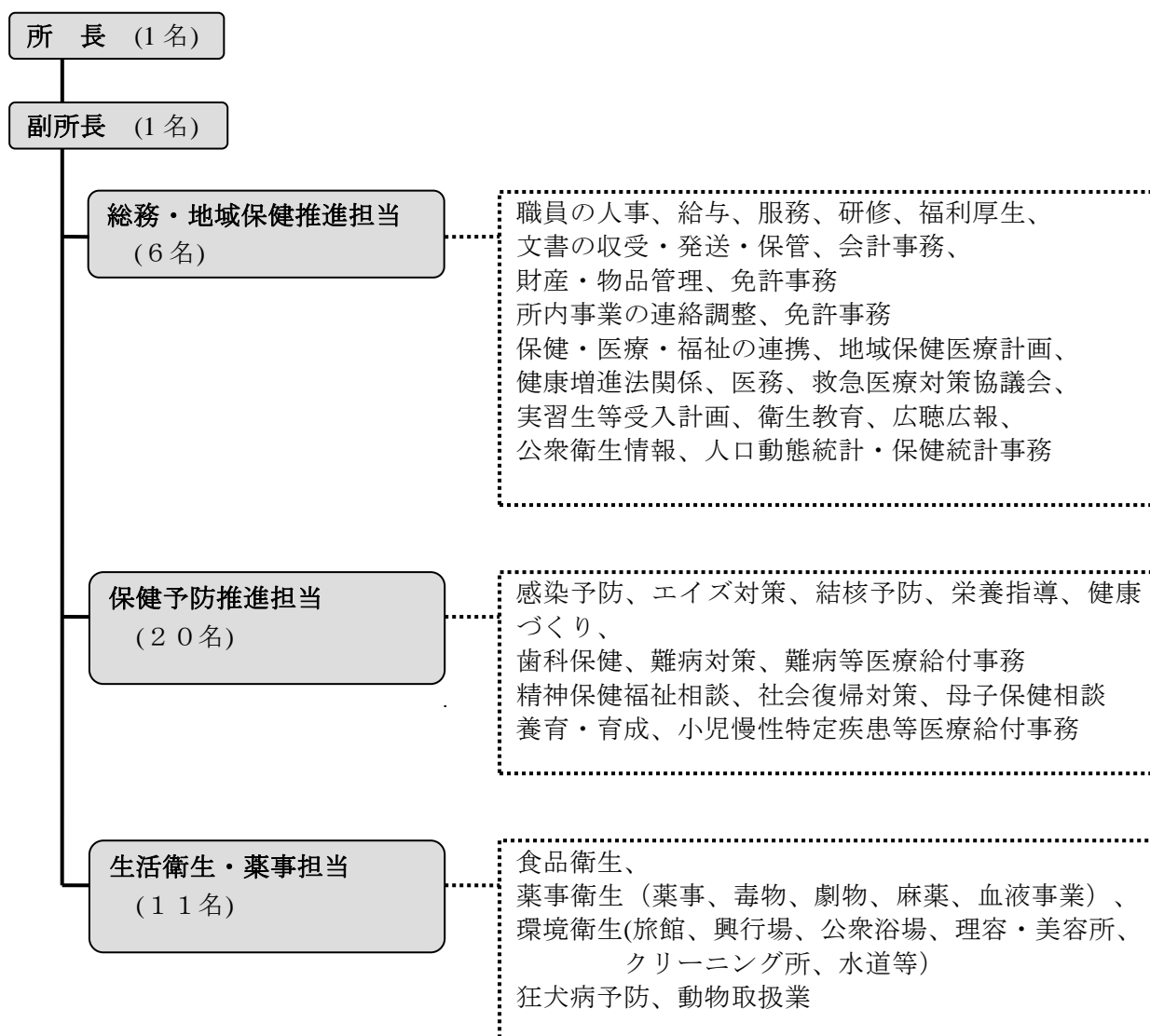


2 沿革

- 昭 36.11.1 北足立郡朝霞町膝折 1 1 1 0 - 1 8 に朝霞保健所開設（庶務課、衛生課、予防課）、
所管区域（新座町、朝霞町、足立町、大和町）
- 昭 37. 5. 1 次長制施行
- 昭 40. 5. 1 保健婦室新設
- 昭 42. 3.15 朝霞町が市制を施行 朝霞市
- 昭 44.12. 1 食肉衛生検査センターの新設に伴い、食肉検査業務移管
- 昭 45. 5. 1 保健所住居表示変更 朝霞市幸町 3 - 1 4 - 5 4
- 昭 45.10.26 足立町が市制を施行 志木市
- 昭 45.10.31 大和町が市制を施行 和光市
- 昭 45.11. 1 新座町が市制を施行 新座市
- 昭 46. 5. 1 計画課新設
- 昭 48. 5. 1 衛生課を食品衛生課と環境公害課に分離
- 昭 48.10. 1 飼犬指導センター川越支所が新設され、所管区域となる
（平 3. 7. 1 より動物指導センター浦和支所（現：南支所）の所管区域となる）
- 昭 50. 5. 1 環境公害課を改め環境薬事課
- 昭 51. 9. 1 保健婦室を改め保健婦課
川越保健所公害監視室が新設され、公害業務移管
- 昭 53. 4. 1 食品衛生課と環境薬事課が統合し衛生課
- 昭 55. 1. 1 朝霞保健所新座支所開設（業務課、保健婦課）
- 昭 55. 4. 1 戸田・蕨保健所に食品監視室及び試験検査室が設置され、所管区域となる
- 昭 58. 3.18 朝霞市膝折 2 番地の 5 に移転
- 昭 62. 4. 1 西部環境管理事務所が新設され所管区域となる
（川越保健所公害監視室廃止）
- 平 3. 4. 1 庶務課と計画課が統合し庶務課
- 平 9. 3.31 朝霞保健所新座支所廃止
- 平 9. 4. 1 保健所組織が課制からグループ制へ移行
（庶務担当、地域保健推進担当、保健予防推進担当、生活衛生・薬事担当）
- 平 16. 1 1 1. 7 保健所住所表示変更 朝霞市青葉台一丁目 10 番 5 号
- 平 19. 4. 1 庶務担当が総務担当に名称変更
- 平 22. 4. 1 保健所再編により、富士見市、ふじみ野市、三芳町が加わり、所管が 6 市 1 町となる。
（所沢保健所富士見支所は、平成 22 年 3 月 31 日をもって廃止。）
総務担当、地域保健推進担当が合併し、総務・地域保健推進担当となる。

3 組織と事務分掌

平成22年4月1日現在 職員数39人



4 健康相談・各種検査日程（平成22年度）

区分		健 康 相 談			
		結核相談		エイズ・性感染症相談	
内 容		結核患者・家族・接触者のエックス線検査、ツベルクリン検査等		HIV、梅毒、クラミジア、 B・C肝炎検査、相談	HIV即日検査のみ
申込方法		予約制(個別通知)		予約制(40人)	予約制(32人)
注意事項等		対象者は、当所から案内があった方に限ります。		あらかじめ、電話・来所にて予約をお願いします。検査結果は、即日検査を除いて翌週木曜日以降に、お渡しします。即日検査のみ、検査後約1時間でお渡しします。	
受付時間		10時～11時 13時30分～14時30分		9時～10時30分	
実 施 年 月 日	H22年4月	6	15	14	22
	5月	—	27PMのみ	12	27
	6月	1	17	9	24
	7月	6	15	14	22
	8月	3	19	11	26
	9月	7	16	8	—
	10月	5	21	13	28
	11月	2	18	10	25
	12月	7	16	8	—
	H23年1月	4	20	12	27
	2月	1	17	9	24
	3月	1	17	9	24

健康相談	各種検査	
こどもの心の健康相談	水質検査	
小児科医師及び臨床心理士による相談、指導	飲料水検査【有料】	
予約制	当日受付	
詳細については保健所へお問い合わせください。	<p>事前に保健所窓口で専用の容器を受け取ってください。</p> <p>検査結果は、翌週の水曜日以降に窓口で交付します(郵送不可)</p>	
13時～17時	9時～10時30分	
8	5	19
13	—	17
10	7	21
1	5	—
5	2	16
2	6	—
7	4	18
11	1	15
2	6	20
13	—	17
3	7	21
3	7	—

5 人口の概況

(1) 管内人口の年次推移と伸び率

	昭和40	45	50	55	60	平成2	7
埼玉県	3,014,983	3,866,472	4,821,340	5,420,480	5,863,678	6,405,319	6,759,311
	100.0	128.2	159.9	179.8	194.5	212.4	224.2
管内計	140,014	217,201	280,798	310,035	337,865	362,917	382,533
	100.0	155.1	200.5	221.4	241.3	259.2	273.2
朝霞市	51,527	67,938	81,755	90,088	94,431	103,617	110,789
	100.0	131.8	158.7	174.8	183.3	201.1	215.0
志木市	20,572	32,047	43,548	50,925	58,935	63,491	64,430
	100.0	155.8	211.7	247.5	286.5	308.6	313.2
和光市	31,034	39,512	46,505	49,713	55,212	56,890	62,588
	100.0	127.3	149.9	160.2	177.9	183.3	201.7
新座市	36,881	77,704	108,990	119,309	129,287	138,919	144,726
	100.0	210.7	295.5	323.5	350.6	376.7	392.4

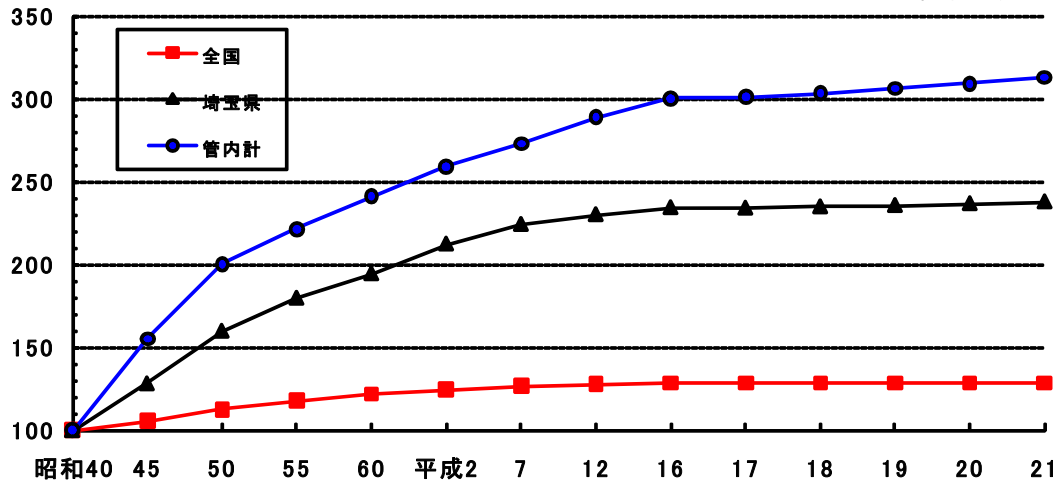
	平成12	16	17	18	19	20	21
埼玉県	6,938,006	7,063,942	7,053,689	7,078,131	7,104,222	7,137,434	7,170,362
	230.1	234.3	234.0	234.8	235.6	236.7	237.8
管内計	404,469	420,470	421,717	424,817	428,925	433,426	438,321
	288.9	300.3	301.2	303.4	306.3	309.5	313.1
朝霞市	119,712	126,797	124,298	125,073	126,794	127,448	128,712
	232.3	246.1	241.2	242.7	246.0	247.3	249.7
志木市	65,076	66,509	67,438	67,963	68,560	69,551	70,450
	316.3	323.3	327.8	330.4	333.2	338.0	342.4
和光市	70,170	75,068	76,676	77,687	78,243	79,321	80,227
	226.1	241.9	247.1	250.3	252.1	255.5	258.5
新座市	149,511	152,096	153,305	154,094	155,328	157,106	158,932
	405.4	412.4	415.7	417.8	421.1	425.9	430.9

注) 1 上段は人口。下段は昭和40年を100とした場合の人口の伸び率。

2 人口は昭和40年～平成12年及び平成17年は国勢調査(各年10月1日現在)の結果による。

平成16年、18年、19年、20年、21年は県「埼玉県の推計人口」(各年10月1日現在)による。

図1 人口の年次推移
昭和40年を100とした場合の人口の伸び率 各年10月1日現在



(2) 管内の年齢別男女別人口

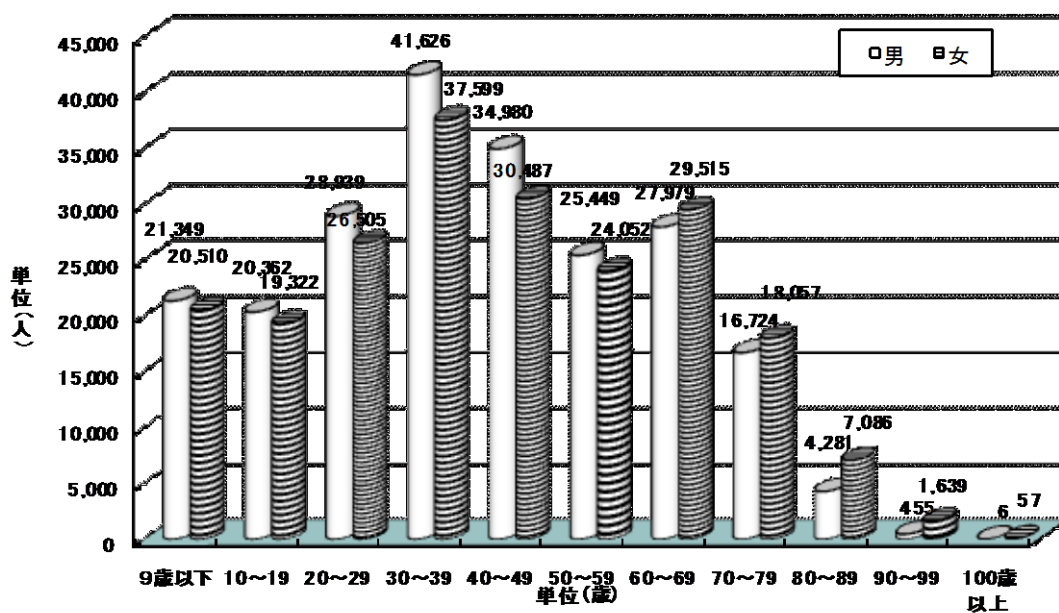
平成22年1月1日現在

年齢	管内計		朝霞市		志木市		和光市		新座市	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0～4歳	10,856	10,253	3,390	3,164	1,615	1,479	2,113	2,032	3,738	3,578
5～9歳	10,493	10,257	3,133	3,081	1,623	1,594	2,046	1,901	3,691	3,681
10～14歳	10,439	9,942	3,167	3,108	1,710	1,573	1,737	1,759	3,825	3,502
15～19歳	9,923	9,380	3,006	2,933	1,622	1,540	1,507	1,381	3,788	3,526
20～24歳	12,568	11,560	3,953	3,441	1,993	1,888	2,428	2,112	4,194	4,119
25～29歳	16,371	14,945	5,060	4,592	2,456	2,323	3,799	3,237	5,056	4,793
30～34歳	19,314	17,402	5,811	5,162	2,905	2,667	4,196	3,719	6,402	5,854
35～39歳	22,312	20,197	6,771	6,208	3,380	3,163	4,564	3,971	7,597	6,855
40～44歳	19,691	17,285	6,063	5,420	3,072	2,699	3,796	3,108	6,760	6,058
45～49歳	15,289	13,202	4,968	4,259	2,288	2,104	2,699	2,189	5,334	4,650
50～54歳	12,175	10,949	3,809	3,165	1,871	1,934	2,048	1,757	4,447	4,093
55～59歳	13,274	13,103	3,824	3,482	2,296	2,369	2,156	2,053	4,998	5,199
60～64歳	14,882	15,220	4,035	3,906	2,607	2,770	2,321	2,298	5,919	6,246
65～69歳	13,097	14,295	3,354	3,812	2,361	2,446	1,759	1,876	5,623	6,161
70～74歳	10,019	10,780	2,662	2,947	1,797	1,886	1,324	1,513	4,236	4,434
75～79歳	6,705	7,277	1,873	2,061	1,178	1,283	948	1,126	2,706	2,807
80～84歳	3,172	4,436	914	1,234	549	771	513	713	1,196	1,718
85～89歳	1,109	2,650	286	722	199	475	177	410	447	1,043
90～94歳	361	1,234	91	330	69	215	58	198	143	491
95～99歳	94	405	19	106	19	61	15	52	41	186
100歳～	6	57	2	16	1	14	2	7	1	20
合計	222,150	214,829	66,191	63,149	35,611	35,254	40,206	37,412	80,142	79,014

資料：「埼玉県町（丁）字別人口調査結果報告」

図2 管内の年齢別男女別人口(10歳代区切り)

平成22年1月1日現在



本統計に用いられる比率の解説

$$(1) \text{ 出生率} \cdot \text{死亡率} \cdot \text{婚姻率} \cdot \text{離婚率} = \frac{\text{1年間の件数}}{\text{10月1日の人口}} \times 1,000$$

$$(2) \text{ 乳児死亡率} = \frac{\text{1年間の乳児(生後1年未満)死亡数}}{\text{1年間の出生数}} \times 1,000$$

$$(3) \text{ 新生児死亡率} = \frac{\text{1年間の新生児(生後4週未満)死亡数}}{\text{1年間の出生数}} \times 1,000$$

$$(4) \text{ 自然増加率} = \frac{\text{1年間の自然増加数(出生数-死亡数)}}{\text{10月1日の人口}} \times 1,000$$

$$(5) \text{ 死産率} = \frac{\text{1年間の死産(妊娠満12週以後)数}}{\text{1年間の出産(出生+死産)数}} \times 1,000$$

$$(6) \text{ 周産期死亡率} = \frac{\text{妊娠満22週以後の数+早期新生児(生後1週未満)死亡数}}{\text{1年間の出産(出生+妊娠満22週以後の死産)数}} \times 1,000$$

$$(7) \text{ 合計特殊出生率} = \frac{\text{母の年齢階級別出生数}}{\text{年齢階級別女子人口}} \quad \begin{array}{l} \text{15歳} \sim \text{49歳までの合計} \\ \text{(5歳階級で算出する場合は5倍する)} \end{array}$$

$$(8) \text{ 死因別死亡率} = \frac{\text{1年間の死因別死亡数}}{\text{10月1日の人口}} \times 100,000$$

注) 統計表の表章記号の規約

－ 計数のない場合

0.0 数値が微小(0.05未満)の場合